

教科目名 環境システム (Environmental System)

学科名・学年 : 都市システム工学科 5年

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 島田 晋

授業の概要			
人間活動の環境に対する影響の歴史と現況を学ぶ。環境科学(人間活動と環境の相互作用についての研究)の成果をどのようにフィードバックすればよいかを考える。今年度は、石 弘之著「地球・環境・人間」を通して、世界各地で進行している環境破壊の状況について学習する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(B2)	
(1) 公害問題から環境問題への歴史を通じ、理解を深め各種の事項について説明できる。(定期試験)			
(2) 政治経済学的な側面と公害・環境問題の関わりについて、考察し問題点を指摘できる。(定期試験)			
(3) 世界中で進行している「食料不足、絶滅の危機、地球温暖化、…」を学び、解説できる。(定期試験)			
(4) 環境に関連する統計データの裏側に見え隠れする人間活動の実態について論述できる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	概説・まえがき <地球・環境・人間>	左の事項との対応は特にない。並列。	【理解の度合い】
2	地球の生態系が危機状況に	スマトラ沖地震で明るみに出た環境破壊	
3	野鳥の2割が絶滅の危機	狂牛病(BSE)が加速するアマゾン破壊	
4	どうなっている北朝鮮の環境	武器取引の規制運動、世界に広がる	
5	初の「高潮難民」の集団移住	中国の建設ラッシュを支える違法木材	
6	アフリカ人はモルモットか	エイズ感染者 4000 万人を超える	
7	宇宙はゴミため	諸現象について理解を深める	
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説		【理解の度合い】
10	ウミガメの危機	枯渇する海 漁獲量の減少が始まった	
11	キリマンジャロの雪が消える	世界のスラム人口 10 億人を突破	
12	<世界のあちこちから>		
13	ダム取り壊しのその後	アメリカ・カナダ・フランスの「脱ダム」	
14	滅び行く言語	先住民インディオの迫害	
15	つづく地球温暖化の異常現象	「自然界の営みが混乱」と警告	
16	黄砂の当たり年	各機関の取り組みと私たち	
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16			【理解の度合い】
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説		【理解の度合い】
25			
26			
27			
28			
29			
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	主として教科書を読み進み、授業の後半に書き込み式の演習問題によって、公害の歴史と政治経済学的な側面を学習する。		【総合達成度】
教科書	石 弘之著、「地球・環境・人間」、岩波書店。		
参考図書	早川・種茂監修、「環境工学の基礎」、実教出版。		
関連科目	衛生工学、防災工学、経済学概説、現代社会。		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について2回の定期試験で評価する。 総合評価 = 2回の定期試験の評定の平均。 総合評価が60点以上を合格とする。		【総合評価】 点